

- 毎年2月1日から3月18日を「サイバーセキュリティ月間」に設定。関係機関・団体と連携し、サイバーセキュリティに関する普及啓発活動を集中的に実施。
- 2023年は、こどもからシニアまで幅広い層に向けた広報活動に注力し、誰でもわかりやすいコンテンツ展開等を実施。
- QUADサイバーセキュリティ啓発イベントとも連携しながら、日本国内におけるキャンペーン活動を展開。

## 月間キャンペーンの認知度向上

- 官房長官からのメッセージ  
月間の開始にあわせ官房長官メッセージを発信
- 月間コンテンツ等の作成
  - 月間のアイコン  
『大和田 隼 さん』、『高橋 ひかる さん』を起用
  - ポスター・デジタルサイネージ  
上記アイコンを活用したポスター及びデジタルサイネージの制作
  - 周知用動画・リーフレット  
SNS等での周知用の短時間や官公庁やその他組織での周知活動用のA4サイズのリーフレット制作
- 戦略的広報の実施
  - 月間特設ページ  
NISCポータルサイト内に月間特設ページを作成、特別コンテンツを掲載
  - 月間関連イベント  
産学官民による普及啓発・人材育成等のイベントを開催（188件）
  - コラム  
政府機関の実施・提供する人材育成・普及啓発施策の関係者が執筆するコラムを発信



## 月間期間中のNISC主催イベント

- サイバーセキュリティ月間キックオフイベント  
月間の開始に合わせて、報道等メディアに向けた広報用イベントを実施
- NISC-CTF  
各府省庁・独法等の職員がサイバーセキュリティに関する幅広い技術・能力を競う競技会を開催 ※CTF：Capture The Flag
- 経営層向けオンラインセミナー  
経営層向けのオンラインセミナーを実施



## 普及啓発コンテンツ等の作成

- 普及啓発用動画  
「サイバーセキュリティ対策9か条」や経営層への意識啓発をテーマとした動画を制作
- 相談窓口の周知  
誰でも利用できる相談窓口に関する情報を周知するための配布カードや動画を制作
- サイバーセキュリティを学べる、考える、使えるアイテム  
「インターネットの安全・安心ハンドブック」、「注意喚起カード」を配布



## 国民への訴求効果

- 各種コンテンツを展開することにより、期間中の特設ページPV（ページビュー）数は延べ約20万回（前年比約10%増）
- 各都道府県・企業等との連携を強化したことにより、検索エンジン等外部からの流入が増える等、新たなユーザの獲得を実現
- 普及啓発コンテンツのダウンロード数等が増加する等、コンテンツ利活用が促進